

ユミ白通信

令和4年4月
第210号
発行：広報委員会

理事長
挨拶

健やかな毎日のために、さらに安全・安心 な環境を心がけてまいります

社会福祉法人 溪仁会

理事長 谷内 好

コロナ禍が癒えないまま「まん延等防止措置」が解除され、区切りとなる新年度を迎きました。

年度替わりの人の流れの増加を心配する声も数多くあるようですが、完全な終息までは安全で安心なサービスを徹底して心がけていくことを、年度のスタートに当って職員全員で改めて確認しました。

这一年、各施設で陽性者の散発的な発生で、ご利用者やご家族の皆さま方にはご心配ご迷惑をお掛けしました。また昨今の状況では、市中感染でしょうか職員のご家族間での罹患の報告も多く、介護サービスの現場の非日常が続いておりました。大変申し訳なく思っております。

私達の介護サービスの原点は、皆さまの健やかな毎日のために、日常の生活のご支援を継続することと心得ております。「入所サービスであれば、ご自宅と変わらない毎日を。通所のサービスは、出歩くことでの社会参加を促し、皆さんと交流しながら必要に応じたリハビリを受け、管理の行き届いた食事をご提供する。」

適切な介護サービスのご提供は、専門の資格者の協働によってフレイルと認知症を予防するという強い思いが根底にあるからです。

この原点の思いを、ご家族の皆さまと共有していくことはとても重要なことだと思います。

お一人おひとりのケアプランに沿い、適切な介護サービスのご提供によって、皆さまの健やかな日常をこれからもご支援してまいりたいと思います。

編集担当者のつぶやき

4月を迎えて、徐々に暖かさを感じる季節になりましたが、昼夜の寒暖差が大きいです。どうぞ皆様、お身体をご自愛下さい。T.H

社会福祉法人 溪仁会

コミュニケーションホーム白石

〒003-0024 札幌市白石区本郷通3丁目南1番35号

☎ 011-864-5321

コミュニケーションホーム白石



人事に関するご案内

支援相談課・遠藤課長が人事異動に伴い転勤、またリハビリテーション部・水野課長が退職となり、コミュニティホーム白石を去ることとなりました。

いつも優しい笑顔でご利用者と関わっておられたお二人でした。

ご利用者の皆様も別れが惜しいと思いますが、更なる活躍を期待しています。



異動の挨拶

経営管理部 支援相談課 課長 遠藤久行



4月より岩内町にあります渓仁会グループの介護老人保健施設コミュニティホーム岩内に異動となりました。

ご利用者、ご家族をはじめ介護・医療関係者、地域の方々在籍中はたくさんのご支援を賜り感謝申し上げます。平成12年（西暦2000年）、介護保険がスタートした年にコミュニティホーム白石に入職し、早くも22年間が過ぎ去ってしまったという思いです。

当時を思い起こせば介護保険も在宅介護の支援を中心としつつ、非常に手探りな中のスタートだったことを思い出します。制度の改正を重ねつつ人材不足という社会問題もあり、今では介護もICT化（情報通信技術）が叫ばれる世の中になりましたが介護の根幹は変わりません。人と人が繋がり支えあうことはこの先も変わることはないでしょう。白石ではたくさんの繋がりから学びを得ることができました。

岩内町では、泊原発や核捨て場として議論されている寿都町が近いなど社会情勢に密接していることを実感します。ロシア情勢もそうですが自分一人では何もできません。皆で力を合わせることで小さなLOVE&PIACEが少しでも大きくなるように今後とも努めていきたいと思います。本当にお世話になりました。



今月より当施設において月替わりで
提供される全国各地のご当地限定
メニューをご紹介していきます。

3月は広島県宮島名物“あなごちらし弁当”
お出汁の効いたご飯に、刻んだ穴子がのったお弁当が提供されました。

